



炎の子



2025年6月10日（火）第7号

素晴らしい演奏を楽しむ貴重な機会になりました

6月4日（水）石川県立音楽堂コンサートホールにて、松井慶太さんの指揮、黒瀬恵さんのオルガン、オーケストラアンサンブル金沢の方々の演奏を楽しむ貴重な機会をいただきました。一流の生の演奏を聴くことができ、学ぶことや感じるものがたくさんあったと思います。また、公共の場所での集団行動について考える機会ともなりましたね。今後、2年生では素囃子鑑賞教室、3年生では観能教室と伝統文化を学ぶ機会がある予定です。何事も学ぼうとする意識を持ち参加することで学びは大きくなります。今回の自分の学びを振り返ってみましょう。



“お礼の言葉と花束贈呈”という大役を、多くの学校を代表して行ってくれた、3組の舟木美結さん。堂々としていて立派でした。お疲れ様でした。

みんなの感想から

オーケストラ鑑賞へ行って音楽のすごさに改めて気づきました。最初から最後まで、1つ1つの曲がそれぞれ違う良さがあって、どれも聴いていて心が躍りました。

特に印象に残っているのは、「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」と「海の男」の2つです。「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」は、最初のフレーズに聞き覚えがあり、でもその後はあまり聴いたことがなかったため、とてもワクワクしながら聴きました。ヴァイオリンが奏でる音がとてもきれいで、心に響きました。「海の男」は、御陣乗太鼓が打楽器で表現されていて、すごいなと思いました。海の男は、他の曲と雰囲気が強くてカッコいい感じで違いました。

アンサンブル金沢のみなさんの演奏、とてもすごかったし、良い機会になりました。（5組 櫻木 音寧）

私はオーケストラ鑑賞会で、3つのことが心に残りました。

1つ目は、ヘンデルのオルガン協奏曲という曲で、大きなオルガンを使っていたことです。最初音楽堂に入って舞台を見たとき、上の方にすごく神秘的なかざりがあるなあと感じていたものが、大きいオルガンで驚きました。そして演奏がとてもきれいで素敵でした。

2つ目は、ミセスの曲がとても盛り上がったことです。ミセスはみんなが楽しみにしていたんだろうな〜と分かる歓声だったから、会場全体が明るくなったような気がしました。

3つ目は、オーケストラアンサンブル金沢さんたちが、最後の最後にプラスしてもう一曲してくれたことです。最後の最後まで盛り上げてくれて、とてもカッコ良かったです。私たちのためにがんばってくれたんだろうな〜というのが伝わりました。（4組 山本 舞）

私はこのオーケストラ鑑賞会をして、音楽のすばらしさを感じることができ、前よりもっと音楽が好きになりました。

最初の曲は「ロッシェニ」で、オーボエが中心になって演奏をしていました。オーボエの優しくて深みのある音色に、私はうっとりしてしまいました。この演奏を聴いて、私もオーボエを吹いてみたい！と思いました。私は吹奏楽部でサクソフーンを担当していて、オーケストラアンサンブル金沢の演奏を聴いて、チームが心をひとつにして演奏できるようになりたいと思いました。Mrs. GREEN APPLE メドレーもとても元気をもらいました。感動しました。

そして楽器には弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器があって、それぞれ特徴があることが分かりました。ヘンデルの曲は、オルガンも加わり、より素敵な演奏になっていました。シューベルトの管楽十重奏は、一つ一つの楽器が持つ音色がすてきに組み合わせられていて、楽器が活かされていたと思います。（2組 林崎 由芽）

初めてオーケストラ鑑賞をして、想像以上の楽器の大きさや音の迫力に驚きました。

全部で9曲の演奏をしてくれて、見たり聞いたりしていても飽きなかったです。指揮の松井慶太さんが楽器の仕組みなどを説明しているときに、音を鳴らしたり音楽にしたりして分かりやすいと思いました。

テレビやCDで聴くのととは全く違って、体の中まで響いてくるような感じがしました。特に弦楽器の音がとても美しく、静かなメロディーでは心が落ち着き、激しい部分では胸がドキドキしました。

1人1人の音が合わさって、一つの大きな音楽になることのすごさを感じました。音楽の力ってすごいな、と思いました。（1組 坂本 凜奏）

オーケストラ鑑賞会では、指揮者の大切さが分かりました。なぜなら、ブラームス ハンガリー舞曲 第5番の指揮者体験では、指揮者の人が変わるだけで、曲の雰囲気「がらっ」と変わったと感じたからです。

そして、演奏方法では、ヴァイオリンの弦をはじいて音を出し、他の楽器を目立たせるようにしているときに「海の男」にあり、驚きました。

さらに、演奏する人は、指揮者を見ながら楽器を演奏することができていてすごいなと思いました。

またオーケストラアンサンブル金沢の演奏を聴いてみたいなと思いました。この経験を音楽の授業などにいかしていこうと思います。(2組 岡山 桜太郎)

ヴァイオリンやチェロ、コントラバス、打楽器など難しい楽器がたくさんあったのに、とてもきれいな音色でひいていてすごいなあ、自分もこんな風に演奏したいな！と思いました。Mrs. GREEN APPLEの楽器はほとんどが難しいし、他の曲も絶対難しいはずなのに、とても素敵な演奏で、聴けてよかったです。

パイプオルガンのパイプが5000本くらいあることを知ってびっくりしました。かわいらしい音色で小鳥の鳴き声みたいな音も出てきて、すごくいやされる音を出す楽器だなと思いました。

ピッコロやヴィオラなど、知らない楽器があったけど、楽器紹介でくわしく知ることができたし、もっと楽器について知りたい！って思いました。またオーケストラ鑑賞をしたいな！って思いました。私もあんなに上手に演奏してみたいです。(5組 寺師 あやみ)

私は、オーケストラ鑑賞で、最初はオーケストラってどんな感じがあまり分からなかったし、本当に面白いのか不安な感じがしたけど、行ってみると、会場にはたくさんライトがあったし、上にはきれいなシャンデリアもあって、私は会場からすごいなと思いました。そして、沢山の楽器のしくみや魅力が沢山知ることができたので、少し楽器に興味がわいてきました。

どの人も感情が表情にも表れていてすごいなと思いました、どれだけ練習して、どれだけ本気で楽器をひいているのかが伝わってきました。

私が特に楽しかったのは、Mrs. GREEN APPLEメドレーのときです。知っている曲が出てきてうれしかったし、指揮者の人が全員に指示して拍手させて、どんどん盛り上がっていくのが一番楽しかったし、良かったです。(3組 竹中 美結)

今回のオーケストラ鑑賞会で、オーケストラアンサンブル金沢のみなさんや、指揮、お話をしてくださった松井さん、オルガンの黒瀬さん、運営のみなさんのおかげで、とても楽しく鑑賞できたと思います。

プログラムの曲は聴いたことのあるものばかりで、特に「アイネ・クライネ・ナハトムジーク第一楽章」「ハンガリー舞曲第5番より」がとても印象に残りました。「Mrs. GREEN APPLEメドレー」も人気のある曲ばかりを選んでくださって、本当に感動しました。

個人的な感想ですが、松井さんの指揮がかっこよくて、結構好きでした。指揮者によって音楽が変わるというのが、とても面白かったです。

「オルガン協奏曲第13番より第2楽章」で「よく聴くと鳥が鳴いている」と松井さんが紹介してくださったのですが、「カッコー」というオルガンの音が聞こえたので、アレだったのかなあと思います。

また聴く機会があれば他の曲も聴いてみたいです。

(3組 赤坂 香芽)

まず最初に「ロッシェニの絹のはしご」を演奏してもらって、最初から迫力のある演奏で、とても良かったです。次に「モーツァルトのアイネ・クライネ・ナハトムジーク」で、なんか聴いたことがある曲名で、聴いてみると思い出して、小学校で習った曲だと思い出しました。次に3曲目の「シューベルトの軍隊行進曲」で聴くまでは知らなかったです。

皆が盛り上がった Mrs. GREEN APPLEメドレーで音楽を聴きながら、皆で手拍子して楽しい思い出になりました。聴く機会があればまた聴きたいです。

(4組 瀨本 力玖)

私はオーケストラ鑑賞会を終えて思ったことは、すべての曲に気持ちが入っていて、すごいなと思いました。そう思った理由は、演奏している時の顔が真剣で、とてもかっこよくて「私たちに音楽の良さを伝えていそうだな」と感じたからです。

ミセスメドレーでは「青と夏」は迫力があって元気が出る曲だったけれど、「点描の唄」では優しくあたたかな気持ちになれる曲でした。最後の「ダンスホール」では楽しい気持ちになれるような曲でした。ミセスの曲だけではなく、すべて気持ちがこもっていて、全部いい曲でした。

またこのような機会があったら、「私たちのために演奏してくれてありがとう」と気持ちを込めて言いたいです。

(1組 江下 陽菜乃)

保護者の皆様へお願い

先週、中間テストの成績連絡票が配布され、各自がテストの取り組みと内容についてのふりかえりを行いました。保護者の方には、お子さんのふりかえりを見ていただき、サインまたは押印をお願いしています。学習の取り組みへのアドバイスやねぎらい、励ましなども、お願いします。